

多様な視点から学ぶ
ベジタリアン・ヴィーガン
ムスリム LGBTQ 受入
対応促進セミナー

2026年2月25日(水)

公益財団法人大阪観光局



1. 大阪観光局とは

◎大阪観光局とは、大阪の観光振興およびMICE(国際会議・展示会・イベント等)の誘致を担う組織

2016年 DMOとして登録。また、大阪観光局は 日本版DMO(観光地域づくり法人)として登録されており、地域全体を一体的にマネジメントしながら、戦略的な観光振興を推進

【主な事業】

・観光戦略策定・自主財源充実

DMO事業戦略の策定、新たな自主財源確保など

・戦略的マーケティングの実施

ビッグデータ分析、関西空港外国人観光客調査など

・情報ネットワークのワンストップ化

プロモーションツールの電子化など

・観光案内のワンストップ化

多言語案内所の設置・機能強化、24時間多言語コールセンターなど

・戦略に基づく新たなプロモーション

国内外におけるプロモーション、専門人材による効果的な誘客推進など

・戦略的MICE誘致の推進

専門人材の配置、企業・団体・大学等との連携など



大阪観光局のロゴマークは、大阪城をモチーフに、ヒト・モノ・カネが行き交う「活力あふれる大阪」、バックの光は「世界に輝く大阪」、そして、太閤秀吉を想起させるイメージによって「歴史・文化あふれる大阪」を表しています！

2. 大阪観光局がめざす都市像と8つのキーワード

世界が憧れる「住んでよし」「働いてよし」「学んでよし」「訪れてよし」の

世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市

「国際観光文化都市」のイメージを表す「8つのキーワード」

① 体験・感動、伝統・伝承

- 1500年の歴史・文化を礎に、未来に継承する都市
- 多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、レジャー等が楽しめるアミューズメント都市
- 様々なプロスポーツ観戦が楽しめる都市
- 世界中の芸術家等が集まる文化・芸術都市
- 人々を惹き寄せるイベントが盛り沢山のエンターテインメント都市
- 世界中の富裕層を楽しませる特別な体験を提供する都市
- 朝から晩まで一日中楽しめる24時間観光都市

② 健康

- 緑や花がそばにある、癒しのある都市
- スポーツが盛んで、健康と生きがいを楽しむ健康増進都市
- 持続的かつ健全な経済発展があり、多くの人が余暇を楽しむ都市

③ 夢・挑戦

- 世界水準のMICE施設を持ち、多数のMICEが開催され、人・モノ・情報が集まり、イノベーションと新しいビジネスが生まれる都市
- スタートアップをバックアップし、再チャレンジを受け入れる都市
- 多様化・高度化する産業構造に対応し、大きな経済効果を上げる都市

④ 多様性・共生・平等

- 様々な価値観を受容し、共存共栄する都市
- 旅行者、留学生など来訪者を歓迎し、彼らが快適に滞在できる都市
- 弱者を助け、共に支えあう都市
- 日本中の各地方都市に送客し、地方都市とともに栄える都市

⑤ 復活・対応力

- 困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市

⑥ 安全・安心・清潔・防災

- 身の危険や感染症のリスクが低く、快適に過ごせる都市

⑦ 分散

- 特定の時期や場所に集中しない、多様な休暇の取り方とコンテンツが享受できる都市

⑧ 環境・みどり

- ゼロカーボン社会を実現する都市
- 地球温暖化の抑制をめざす都市
- 生態系多様性の維持をめざす都市

3. 大阪観光局が取り組む事業

2025年は、大阪・関西万博での成功を礎に未来に向けて大きくステップを踏む1年に

大阪観光局キャッチコピー「Downtown of Japan」

2025年のテーマ「Dream NEXT 100」

多様な人材

スタートアップの育成

投資を呼び込む

新たな魅力の発見



SDGsの達成に向けた各取組み

「量から質へ」「安全・安心」「ストレスフリー」「シームレス」「社会課題対策」「災害・緊急時対応」「人手不足対応」

★ = 重点的に取り組む事業

ラグジュアリー対策
 受入環境整備 規制緩和
 ラグジュアリーホテル誘致支援
 コンシェルジュ育成
 富裕層向けサービスの提供

大阪のSDGs

- ★ エコバーサリタリズム
- ★ スポーツツーリズム (サイクリング)
- ★ ペットツーリズム
- ★ 留学生支援 教育交流
- ★ 食のSDGs
- ★ 緑化・環境への取組み
- ★ LGBTQツーリズム

国内プロモーション

- ★ 旅行博・商談会
- ★ 大阪DC

日本の観光ショーケース

- ★ 文化芸術観光
- ★ 食・ブランディング
- ★ ナイトタイムエコノミーの推進
- ★ 重要コンテンツ
- ★ 伝統行事・祭り
- ★ テマコンテンツ開発
- ★ 水都事業の推進
- ★ スポーツツーリズム (プロスポーツ連携)
- ★ 広域連携 (周遊)・府域周遊・大阪市内の取組み
- ★ 広域連携 (周遊)
- ★ 府域周遊の促進
- ★ 市内エリアゾーニング

インバウンド誘致

- ★ リアルプロモーション
- ★ 受入環境整備
- ★ アウトバウンド促進
- ★ フードダイバーシティ
- ★ 災害への対応
- ★ 急患

社会課題対策

- ★ 混雑回避
- ★ 旅のお困りごと対応
- ★ 分散

MICE

- ★ 誘致・創出
- ★ SDGs for MICE
- ★ スポーツMICE

観光インフラ

- ★ Osaka Free Wi-Fi
- ★ 案内所の運営管理
- ★ コールセンターチャットボットの運営

観光DX・マーケティングリサーチ

- ★ 観光データベース (DMP)構築
- ★ 関空調査
- ★ MaaSの推進
- ★ 観光アプリ
- ★ OSAKA-INFO SNS運用

自主財源

- ★ 大阪楽遊パス(Eチケット)
- ★ ライセンス・広告
- ★ 賛助会員
- ★ オフィシャルパートナー

観光関連事業者支援

- ★ 飲食事業者応援事業

4. LGBTQ+ツーリズムと推進理由

LGBTQ+ツーリズムとは？

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティの方々が、安心・安全に旅行を楽しめることを重視した観光、またはその市場を対象とした観光施策のこと。

推進理由

① 欧米豪対策

② 富裕層対策

③ 局の3つのコンセプト

24時間観光都市

関西・西日本の観光ハブ

多様性あふれる街

大阪のポテンシャル

ゲイバー
集積

文化・芸術
周遊のハブ



大阪人

おしゃれな
ホテル群

5. 大阪・関西万博について

《来場実績(通期)》

累計来場者数: **2,902万人**

(AD証入場者除き: 2,558万人)

1日平均来場者数: 15.8万人/日

ピーク動向: 9月10日以降、34日連続で20万人超

《インバウンド来場者(推計)》

インバウンド来場者数: 約**200万人**(全体の約6.9%)

うち AD証入場者: 約68万人

インバウンド来場者 上位国・地域構成(推計)

台湾: 17.5%

中国: 15.4%

米国: 11.4%

香港: 7.3%

ドイツ: 4.0%

《公式参加》: 158の国・地域、7つの国際機関

累計来場者数の節目達成状況	
達成日	累計来場者数
4月23日	100万人
5月26日	500万人
6月29日	1,000万人
8月6日	1,500万人
9月5日	2,000万人
9月27日	2,500万人

大阪・関西万博では、多様な人々がひとつに繋がり、交流をする中で、万博を共に創り上げた！

6. 大阪・関西万博と多様性

2025年大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、多様性の尊重を重要な柱として開催された。

《開催期間中の主な取り組み》

① インクルーシブな会場設計

・障がい者、高齢者、乳幼児連れなど、あらゆる人が利用しやすいユニバーサルデザインを徹底

② 多様な食への対応

・ハラール、コーシャ、ヴィーガン、アレルギー対応など、宗教・健康・ライフスタイルに配慮した食の提供

③ ジェンダー平等と多様な参画

・多様な文化的背景を持つ人々が運営・展示に参画
 ・ジェンダー平等の推進と文化的多様性の尊重

④ 「共創」の促進

・企業・自治体・NGO・個人が連携する「共創チャレンジ」を通じた社会課題解決の模索



EXPO 2025 Visitors (万博公式アプリ)のグルメ検索画面



万博会場に設置された祈禱室

7. 大阪・関西万博におけるLGBTQ+に関する取組

① オールジェンダートイレの設置

・会場内トイレの約4割に設置(45所のうち18か所にオールジェンダートイレが設置された)

② イベント・トークセッションの開催

万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に関連し、LGBTQ+に関する様々なイベントやトークセッションをNPO法人や大学と連携し開催。

③ 啓発・共創イベントの実施

・アライ(支援者)と当事者によるダイバーシティ・ファッションショーなどを開催

※各パビリオンでも6月のプライド月間はレインボーに染まりました！



万博会場に設置された
オールジェンダートイレの表示



オーストラリアパビリオン



スペインパビリオン
(イベントも開催)



カナダパビリオン



ドイツパビリオン

8. 大阪観光局におけるLGBTQ+ツーリズムの取組-情報発信

情報発信

Global Pride in Osaka: Expo 2025 Pavilions Show Their Colors!

As Pride Month 2025 wraps up, Osaka celebrates global LGBTQ+ solidarity on display at the 2025 World Expo. As Japan's top LGBTQ+ travel destination, we are thrilled to see this vibrant spirit of inclusion come alive at Expo 2025 Osaka, Kansai.

Open since April 15, 2025 for a six-month run, Expo 2025 brings together more than 160 countries and organizations from around the world to showcase new ideas and tackle today's biggest issues. As of July 1, the Expo has already welcomed more than 10 million visitors.

Many participating nations embraced the rainbow during Pride Month, making a bold statement of welcome and acceptance for every traveler. These affirmations reflect Osaka's commitment to creating a truly universal and inclusive experience for all travelers. Take a look below for a glimpse at how some pavilions are showing their commitment to diversity and Pride.

A Spectrum of Support: Pavilions Glow with Pride

From dazzling rainbow lights to immersive experiences, these pavilions have shown a strong commitment to LGBTQ+ visibility.

Spain Pavilion

The Spain Pavilion not only lit its exterior in rainbow hues but also hosted a fantastic Pride event in collaboration with several other country pavilions. This active commitment to visibility and celebration sets a wonderful precedent.

Canada Pavilion

Canada proudly flew the Pride flag throughout June, signaling a warm welcome. Inside the pavilion, the innovative XR experience also subtly incorporates rainbow elements, blending innovation with

Osaka Convention & Tourism Bureau

大阪府観光局 大阪観光局
〒542-0022
大阪府中之区淡路町4-4-22
YODA BUILDING 4F 4F 22
TEL (06)262-9900(1)
FAX (06)262-1000

スイスホテル南海大阪

ホテル 10 階ロビー「NAMBAR10」では、プライド月間限定カクテル「Love Wins」を提供し、愛の多様性を伝えます。アンアパの IGLTA 認定ホテルであり、大阪観光局からも LGBTQ+フレンドリーホテルとして認定されているスイスホテル南海大阪は、LGBTQ+ウェディングを心を込めてサポートしています。ウェディングフロアにはチャペルや神前式、ブライダルブティックなどが揃い、経験豊富なウェディングコンシェルジュがすべてのカブルの愛を祝福し、思い出に残る一日を共に盛り上げます。

詳細はこちらをご確認ください：
<https://www.sotelnankaiosaka.com/ja/offers/pride-month-campaign-2025/>

W 大阪

6 月 18 日に、W 大阪は期間限定ブランドであるアロフト大阪東島とのパートナーシップのもと、W 大阪にてトークセッションを開催します。このセッションでは、マリオットのコアバリューである「Integrity (誠実さ)」を標榜し、自分らしさを大切にすることを原動力とするプログラム・マーケティングディレクター、HIRAKU 氏をゲストスピーカーに迎え、個人的な経験やインスピレーションが共有されるトークセッションと Q&A が予定されています。これは W 大阪と HIRAKU 氏の 4 回目の LGBTQ+に関する取り組みとなります。また、6 月の 1 か月間、W 大阪の旗艦のひとつである「アライ/リトルネール」がレインボーカラーにライトアップされます。

公式 WEB サイト：<https://www.marriott.com/ja/hotels/osaow-w-osaka/overview/>

Visit Gay Osaka

2025年11月7日 木

Discover Osaka's LGBTQ+-Friendly Experiences!

Looking for authentic, welcoming experiences in Osaka? Many local tour and cultural experience providers have taken part in LGBTQ+ travel seminars to learn how to better welcome all travelers, and now display the rainbow Pride flag.

Through DeepExperience Osaka, you can find immersive food tours, hands-on workshops, and hidden-gem adventures where inclusivity comes first.

Explore Osaka with peace of mind, and connect with locals for immersive experiences. See more information on our website here:
<https://visitgayosaka.com/column/columns/deepexperience.html>
#VisitGayOsaka #travelosaka #traveljapan #LGBTQtravel

自己紹介

Japan's first LGBTQ+ information portal for international travelers by a local tourism bureau.

ページ・観光案内所
info@visitgayosaka.com
visitgayosaka.com
まだ評価はありません(レビュー0件)

写真 [すべての写真を見る](#)

プライドパサー - 初瀬無約 - 広告 - Ad Choices - Cookie - その他

いいね! コメントする

ウェブサイトやFacebookで、弊局の取組やイベント情報を継続して発信。
発信を通じて、「安心・安全なまち、大阪」「多様性溢れる大阪」のイメージを広め、国際的な認知度向上を図る。

9. 大阪観光局におけるLGBTQ+ツーリズムの取組-プロモーション①

レインボーフェスタ！2025

日時:2025年10月11日(土)~12日(日)

場所:扇町公園

・2日間で約60,000人、関西レインボーパレードには約1,600人が参加

IGLTA2025パームスプリングス総会

日時:2025年10月21日(火)~24日(金)

場所:アメリカ パームスプリングス

・30の国と地域から750名



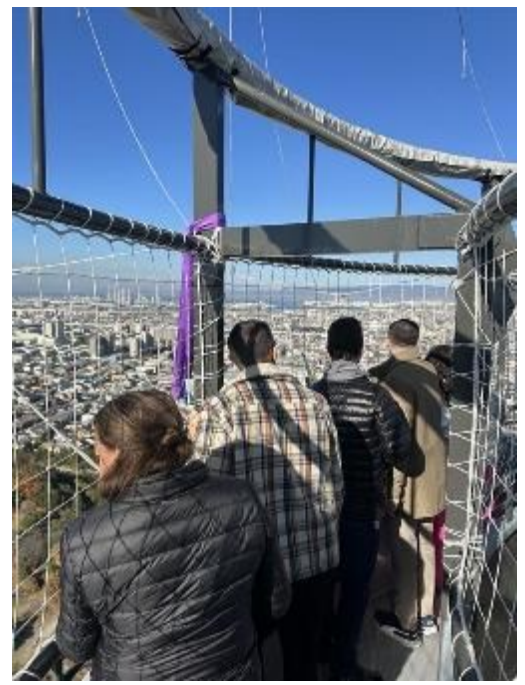
・ブースには大阪観光PRツール並びに奈良県の観光PRツールを配架。大阪の専門学校によるフェイスペインティングも実施。
 ・アンケートに回答いただいた方には、賛助会員のホテルや体験施設から提供いただいた景品が当たる抽選会参加権利を付与。
 (参画団体)
 奈良県/リゾートライフ/voco大阪セントラル道-michi-/日本伝統宝飾/大阪ステーションホテル
 ヒルトン大阪 / ダブルツリー
 スイスホテル南海大阪/大阪ベルエール専門学校



・大阪ブースは昨年のホストホテルであるスイスホテル南海大阪とLGBTQ+ツーリズム推進協議会へ参画している北海道と共同出展
 ・ブースでは抽選会を実施(Visit Gay Osaka、スイスホテル南海大阪SNSフォローすることが条件)
 ・商談会では2日で28社のバイヤーと商談。

10. 大阪観光局におけるLGBTQ+ツーリズムの取組-プロモーション②

バイヤー向けFAMトリップ



大阪がLGBTQフレンドリーな都市としてのブランド発信を強化し、観光受入体制の向上を図るため、海外のバイヤー4名を招聘。

視察内容をもとに、参加旅行会社がLGBTQ+をテーマとした旅行商品を造成し、海外市場における大阪の販売促進につなげる。

(体験内容)気球乗船体験、刃物研ぎ体験、ワイナリー見学/試飲、味噌作り体験、ゲイバーツアー、食べ歩きなど

LGBTQ+ Travel in Osaka – Overview and Key Insights

はじめに

本分析は、西日本最大級のゲイバーとして知られている「Eagle Osaka」で実施されたアンケート調査に基づいている。本調査の目的は、大阪を訪れるLGBTQ+旅行者のニーズ、意識、旅行行動をより深く理解することである。現状を明らかにし、改善の余地を把握することで、大阪におけるインクルーシブかつウェルカミングな観光環境の整備に貢献し、今後の戦略設計に資する基礎資料を提供することを目指している。

目的

- 大阪に対するLGBTQ+旅行者の認識や、彼らの主なニーズ・期待を把握すること。
- 大阪におけるLGBTQ+フレンドリネスの現状をベンチマークし、改善が必要な点を明らかにすること。
- 今後の観光戦略の議論や進捗評価の指針となる基礎データを提供すること。

利用目的

- 大阪におけるLGBTQ+旅行・観光の推進に関わる関係者の参考資料として活用されること。
- 施策議論、デスティネーション・マーケティング、KPI設定等に資する情報を提供すること。
- 大阪がLGBTQ+フレンドリーなデスティネーションであるかどうか、現状を把握したい企業、自治体、個人等にとっての参考資料となること。

Data Overview

出典	2025 LGBTQ+ Travel Survey (Eagle Osaka)	調査期間: 2025年9月～2025年10月 (N-559)
	関西空港出口調査 2024年度	調査期間: 2024年5月～2025年2月 (N-4000)
	関西空港出口調査 2023年度	調査期間: 2023年5月～2024年2月 (N-4000)

大阪におけるLGBTQ+ツーリズム:主要指標

+57.2

LGBTQ+ 旅行者の多くが大阪を推奨！

大阪はLGBTQ+旅行者から「+57.2」の高いNPS（推奨度）スコアを獲得。満足度が非常に高く、旅行先として大阪を他者にすすめる傾向が強いことを示している。

79.0%

大阪はLGBTQ+に優しい旅行先として満足度が高い！

LGBTQ+旅行者の79%が、大阪をLGBTQ+フレンドリーな旅行先として「満足」と回答。否定的な意見はわずか3.6%に留まっている。

82.3%

旅行先選定においてLGBTQ+フレンドリーさを重視！

LGBTQ+旅行者の82.3%が、大阪を旅行先として選ぶ際にLGBTQ+に優しいかどうかを「重要」と捉えたと回答。大阪のLGBTQ+への取り組みは、訪問先の決定に強く影響する可能性がある。

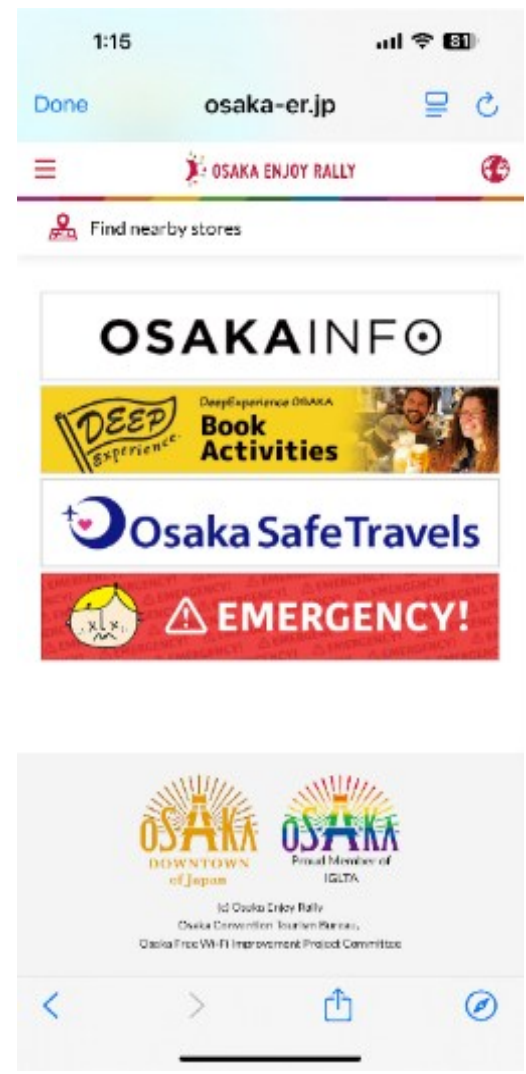
1.86倍

LGBTQ+ 訪問者は消費額が高い傾向！

大阪観光局が実施する関西空港出口調査の回答者に比べて、LGBTQ+旅行者は大阪府滞在期間中に130,000円以上を消費する「高消費層」に属する確率が約1.86倍高いと判明（年齢・性別・国籍・訪問経験などを統制した上での結果）。

価値観が多様なインクルーシブ分野においては、当事者アンケート等を通じて実態や感じ方を可視化することが、課題整理や取組推進の共通認識づくりにつながる。

「多様性を尊重する都市・大阪のレガシー」



日本の魅力を、日本のチカラに。

JNTO 日本政府観光局

PRESS RELEASE
報道発表資料

2026年1月23日

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年度「国際会議誘致・開催貢献賞」の受賞会議が決定！

- 日本政府観光局（JNTO）では、毎年、誘致活動時や開催時において優れた取組を行った国際会議に対して「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰しています。
- 2025年度は、「国際会議誘致の部」で4件、「国際会議開催の部（大規模会議部門）」で4件、「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」で5件の合計13件の国際会議を選出しました。
- 新たに、「国際会議誘致・開催貢献賞」ロゴと英語名称を決定しました。
- 表彰式は2026年2月12日（木）に東京都内にて開催します。

日本政府観光局（JNTO）では、2008年より、誘致や開催において優れた取組を行った国際会議に対し「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰しています。

今回の受賞会議では、市民や子どもたちが地域を案内するツアー、地元企業と協働したヴィーガンメニューの開発、会議会場周辺施設による歓迎バナー掲示など、地域と連携した取組が評価されました。さらに、離島へのスタディツアーや観光内海局でのレセプション開催など、地域の魅力発信にも大きく寄与しました。また、開催都市のスタートアップ企業への訪問や地元研究者との交流会実施など、地元産業界と参加者の交流の場を創出した点も高く評価されています。

また、海外研究者と国内大学・教育機関の連携促進を目的に、地域の大学による先端技術の社会実装の視察、市内の中学生向けロボット工学ツアー、小中高校生の学会ポスター発表が行われるなど、次世代育成に貢献した会議もありました。

「国際会議誘致・開催貢献賞」の新たなロゴマークと英語名称「Japan Conference Excellence Awards」を決定し、今後の認知向上に活用していきます。

2025 Japan Conference Excellence Awards

2025年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式 取材のご案内

- 日時：2026年2月12日（木）14：30～16：10（メディア受付は14：00～）
- 会場：東京国際フォーラム

※表彰式の取材をご希望の場合は、別紙に記載のフォームにてお申し込みください。

Japan Meetings & Events
New Open start here

独立行政法人 国際観光振興機構 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4
企業総務 広報グループ TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp/

2025 Japan Conference Excellence Awards

JNTO

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

会議名	(和名) IGLTA 2024 大阪総会 (英文) IGLTA 2024 Global Convention in Osaka	
主催者	The International LGBTQ+ Travel Association 開催都市 大阪府大阪市	
開催期間	2024年10月23日～10月26日（4日間）	
参加人数（外国人参加者数）	575名（350名）	参加国・地域数 51カ国・地域
会議概要	LGBTQ+ツーリズムの普及を目的とする旅行業団体による国際会議	
受賞理由	会場周辺の施設に協力を得て統一ウェルカムバナーを掲出する等、地域が一体となり本会議をホストしたほか、ユニークメニューとして住吉大社を活用、また大阪が1となく「大阪都市」と提唱し、PR活動が地域を訪問するフレノボストツアーを行った点が評価された。40以上の海外メディアが取材に訪れ、LGBTQ+フレンドリーな街として大阪のプレゼンス及びブランド力向上に寄与した。	

Japan Meetings & Events

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞！！
(2026年2月12日に表彰)

※日本政府観光局(JNTO)では、毎年、誘致活動時や開催時において優れた取組を行った国際会議に対して「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰している。

2025年度は、「国際会議誘致の部」で4件、「国際会議開催の部（大規模会議部門）」で4件、「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」で5件の合計13件の国際会議が選出された。